

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ぐん☆ぐん		
○保護者評価実施期間	令和7年 3月 14日		令和7年 3月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27家庭	(回答者数) 22家庭
○従業者評価実施期間	令和7年 3月 24日		令和7年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 4月 18日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	同施設内、放課後児童クラブ(のび☆のび)と併用運営。多数の児童と交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校送迎は合同で実施</li> <li>・毎週金曜日は合同でクラブ活動を実施</li> <li>・日々の遊戯室や園庭でのレク活動を合同で実施</li> <li>・毎年恒例の季節行事等合同で実施</li> <li>・部署の垣根を超え、学童部職員は、一貫し全児童と関わっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各児童の配置クラスでの活動時間が多いので、他クラスへ移動し負担なく楽しめる雰囲気や遊びの工夫をしていきたい</li> </ul>
2	児童の活動時間を確保し、また利用を充実するために、夕方自宅等の送迎支援は行わず、直接ご家族にお迎えに来ていただく	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が毎日、各児童の施設での様子、また、保護者の方から学校やご家庭での様子などをお知らせいただき、保護者と連携を図りながら児童支援をすることを大切にしております。</li> <li>・保護者対応は、必ず職員が1対1以上で行っている。</li> <li>・子どものケンカやトラブルも、ご家族に直接顔を見て説明することで伝わりやすく解決も早い。大きな案件になることを防ぐことができる。</li> <li>・直接事業所に来てもらうため、実際の支援の様子や活動もみてもらうことができる。</li> <li>・お友達とお迎えと一緒にいると、ご家族も顔が分かり話す機会が増えて、ご家族同士のコミュニケーションにもつながる。</li> <li>・決まった職員だけではなく、たくさんの職員とご家族の方が</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お迎え時の夕方以降の時間に、保護者座談会など定期的にご家族同士が話せる機会を作る。</li> <li>・お迎えの時間に、個人面談など定期的に計画していく。</li> </ul>
3	曜日に合わせた活動プログラムや学童部との合同プログラム等活動が充実している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お迎えの時間調整を行い17時からしっかり活動することができる。</li> <li>・土曜日や長期休みには、スノーピーバスを活用して、地域の色々な場所へ積極的に園外活動を取り入れている。</li> <li>・季節行事やクラブ活動を学童部と合同で実施。</li> <li>・自然あそびを取り入れて農業体験の活動を実施。</li> </ul>	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	療育や個別支援プログラムの活動が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門的な職員(OT・ST)の在職がない。</li> <li>・1日の利用人数が多いため、個別に時間を取って1対1の支援対応が難しい。</li> <li>・小集団での活動を主に行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門的な職員の入職を行う。</li> <li>・個別の1対1支援ではなくても、宿題やじゆうあそびの時間に、個々の支援を行う。</li> </ul>
2	静かな空間が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複合施設(学童クラブ・子育て支援センターが合同)のため、出入りする人数が多い。</li> <li>・教室も小集団での活動を主に行っているため、構造化はできにくい環境にある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き教室や教室の一角を工夫して、クールダウンできる場所を設ける。</li> </ul>
3	バリアフリー化が十分ではない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当施設が老朽化のため、全てバリアフリーにすることが困難である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当施設の状況に合った子どもをお取りしている。</li> <li>・必要な箇所に、手すり等を設置している。</li> </ul>